

大学による国際協力活動の現状と課題

～ 大学向けアンケート調査の結果から～

文部科学省

「国際開発協力サポート・センター」プロジェクト

2006年10月



目次

- I. 「大学の国際協力活動に関するアンケート」調査の概要
- II. 大学による国際協力活動の現状
- III. 組織的な国際協力活動に関する課題
- IV. 「国際開発協力サポート・センター」プロジェクトに対する期待
- V. 「国際開発協力サポート・センター」プロジェクトの活動予定



I. アンケート調査の概要

- 調査のねらい

- ◆ 大学の国際協力活動に関する現状の把握
- ◆ 大学の特徴を活かした国際協力活動に対する支援の検討

- 調査の方法・時期

- ◆ 全国の国公立大学を対象
- ◆ 大学本部・事務局分と学部・研究科分の2種類の調査票を送付
- ◆ 2006年5月実施
- ◆ 回答状況

| 発送数 | 回答数 | 本部・事務局 | 学部・研究科等 |
|-----|-----|--------|----------|
| 735 | 378 | 375 | 824(656) |

()内は集計対象数



Ⅱ. 大学による国際協力活動の現状(1)

1. 国際協力活動に関する基本方針

- 30%超の大学が基本方針を策定している
- 「国際社会への貢献」、「学術交流の推進」、「人材の育成」、「教育研究の向上」などが盛り込まれている
- 「発展途上国への国際協力」や「国際協力事業への積極的参加」を掲げる大学もある



Ⅱ. 大学による国際協力活動の現状(2)

2. 平成18年度の活動予定

- 40%の大学が国際協力活動を予定
- 多様な国際協力活動を展開
 - ◆ JICAによる研修員等の受入や専門家派遣
 - ◆ JBICによる人材育成事業の実施
 - ◆ 学術交流(協定締結、研究者交流、共同研究等)
 - ◆ 学生の海外での実習、ボランティア、インターンシップ等
 - ◆ JICAの「草の根技術協力事業」への取り組み



Ⅱ. 大学による国際協力活動の現状(3)

3. 担当部署の設置状況

- 競争力・独自性を高めるため、国際協力の担当部署を作った大学が約4割

4. 国際協力活動に関して今後強化したい取組

- 開発途上国の大学との大学間交流
- 国際協力案件の受託
(そのためには予算を増やすことが一番必要と認識)
- 学術交流や教育研究と並んで国際協力活動のための体制整備(本部)
- 教育研究や学術交流(学部)



Ⅱ. 大学による国際協力活動の現状(4)

5. 援助機関との連携に対する関心

- 6割近い大学が関心
- 活動形態別では、
 - ◆ 留学生等の受入に高い関心
 - ◆ 次いで契約によるプロジェクト受託
 - ◆ 教員派遣と並んで、インターンシップ派遣や連携セミナーにも関心

6. 国際協力活動に関する案件等の受注実績

- 過去5年間に200件超
- うちJICA、JBIC、国際機関関係の案件が約7割



Ⅱ. 大学による国際協力活動の現状(5)

7. 学外機関との連携の必要性

- 3割超の大学が必要と回答
- 連携先としては国内の他大学が7割近く
- コンサルタントやNGOへの関心も高い



Ⅲ. 組織的な国際協力活動に関する課題(1)

■ 大学・学部レベル

→ 国際協力のための人員・予算の確保、学内組織の整備

■ 教員レベル

→ 教育研究等との両立、教職員の理解や協力の向上

| | 大学レベル | 学部レベル | 教員レベル |
|---|-----------|-----------|-----------|
| 1 | 人員・予算等の不足 | 人員・予算等の不足 | 教育研究等との両立 |
| 2 | 学内組織の整備 | 学内組織の整備 | 教職員の理解と協力 |
| 3 | 予算・資金の確保 | 教育研究の充実 | 人員・人材の確保 |
| 4 | 教職員の理解と協力 | 学内の連携強化 | 学内組織の整備 |
| 5 | 人員・人材の確保 | 教職員の理解と協力 | 学内の連携強化 |



Ⅲ. 組織的な国際協力活動に関する課題(2)

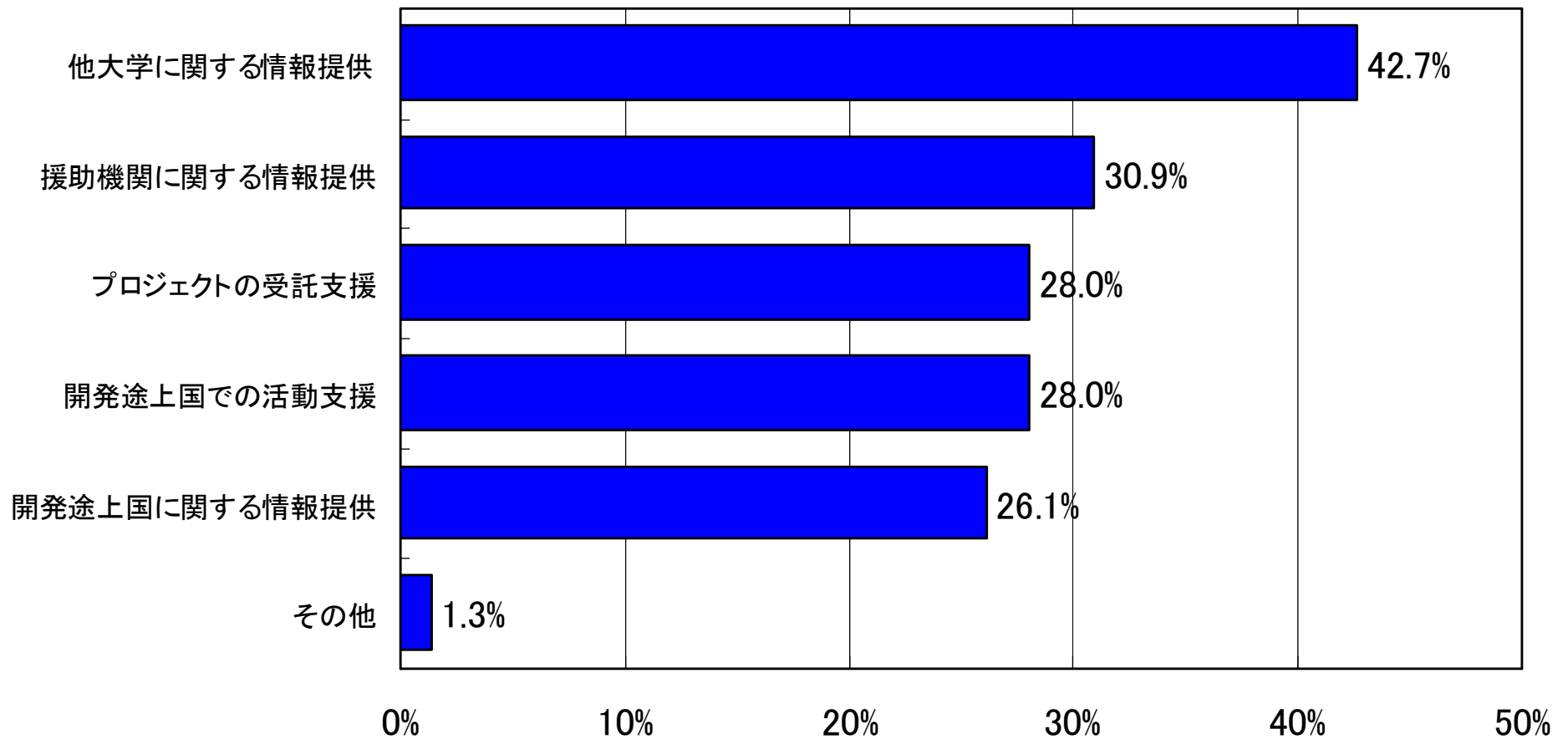
■ 学外機関との関係における課題

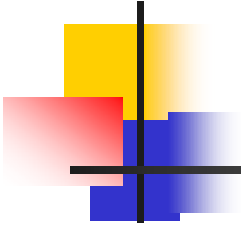
- ◆ 関係構築のほか、専門的な人材の配置や情報収集の強化

| | JICA、JBIC | 国際機関 |
|---|--------------|--------------|
| 1 | 連携の強化 | 大学側の体制整備 |
| 2 | 大学側の体制整備 | 連携の強化 |
| 3 | 大学による情報収集の強化 | 大学による情報収集の強化 |

IV. 「国際開発協力サポート・センター」 プロジェクトに対する期待

■ SCPには主に情報提供を期待





V.「国際開発協力サポート・センター」 プロジェクトの活動予定

今後の活動の方向性

- ➡ 大学の組織的な国際協力活動に対する取り組みの支援

- ➡ 国際協力のための「知的コミュニティ」の形成促進
 - ・大学、援助関係者(NGOを含む)、行政機関等の関係者から構成される国際協力の「知的ネットワーク」(分野毎の有識者ネットワーク)の形成を促進
 - ・プロジェクトコーディネーターの育成
 - ・援助リソース活用のための支援



ご静聴ありがとうございました

本年10月に文部科学省「国際開発協力サポートセンター」プロジェクトのホームページが再開されました。

<http://www.scp.mext.go.jp> です。

国際協力に関心がある方はご気軽に当センターまでご連絡下さい。大学の国際協力活動の充実のため、皆様のお役に立ちたいと思います